

Lensbaby 3G™

使用説明書

この度は、Lensbaby 3Gをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの説明をよく読み、十分に性能を生かして正しくお使いください。
お読みになったあとは必ず保管してください。

輸入発売元：株式会社 **ケンコー** <http://www.kenko-tokin.co.jp/>

本社 TEL: 03-8570 東京都新宿区西落合3-9-19
東京営業所 TEL: 03-5982-1060 (火)
アート TEL: 03-8570 東京都新宿区西落合3-9-19
大阪営業所 TEL: 06-6767-2640 (火)
名古屋営業所 TEL: 052-232-3331 (火)
名古屋出張所 TEL: 052-232-3331 (火)
福岡出張所 TEL: 092-476-5071 (火)
札幌出張所 TEL: 011-813-2176 (火)
仙台出張所 TEL: 022-272-0281 (火)
甲府出張所 TEL: 055-222-1111 (火)
横浜出張所 TEL: 045-457-0011 (火)
宇都宮出張所 TEL: 028-621-0011 (火)

① 各部の名称



③ 撮影の準備

ファインフォーカス用ヘリコイドを中间の位置に撮影する前に、ファインフォーカス用ヘリコイドを3本のフォーカシングレールの中間の位置にしてください。一旦レンズベビー3Gを中间の位置にロックしても、その位置からさらに近くや遠くに焦点を合わせることができます。

レンズベビー3Gのロックの仕方

2つのリリースボタンと一緒につまむとレンズベビー3Gのロックが解除され、レンズを伸び縮みさせたり上下左右に動かすことができます。

ロックを解除した状態で、撮影対象に焦点が合うまでゆっくりとレンズを伸し込みます。スイートスポットを好みの位置に合わせてから、右手の人差し指か中指でフォーカスロックボタンを押しレンズベビー3Gをロックします。ロックするときに多少焦点がズレてしまうことがあります。ロックされた状態からでも正確に焦点を合わせることができます。

正確なファインフォーカシング

一旦レンズベビー3Gをロックした後、マニュアルフォーカスリングのようにレンズベビー3Gの先端にあるファインフォーカス用ヘリコイドを回転させることで精密な焦点調整ができます。ファインフォーカス用ヘリコイドを回転させると焦点が前後に移動します。



手の位置

レンズベビー3Gを使用するための適したカメラの持ち方は、両手の中指と薬指でカメラの両サイドからフォーカスリングを支え、小指を含めた手のひらでカメラを支え、親指と人差し指をカメラの上部に添える持ち方です。右の人差し指はシャッターを押せるようにします。また三脚を併用することをお勧めします。

フォーカス方法

通常のサブでレンズベビー3Gの焦点の合う距離は約50cmです。それよりも遠くに焦点を合わせたいときはリリースボタンをつまんでロックを解除した後、撮影対象に焦点が合うまでゆっくりとレンズチューブを伸し込んでください。50cmより近くに焦点を合わせたいときはフォーカスリングをゆっくりと押し出してください。

スイートスポットの移動

一眼撮影対象に焦点を合わせた後、レンズを上下左右に傾けてスイートスポットを自由に移動することができます。焦点を合わせたいエリアにレンズを傾けるとわかりやすいです。



取りの変更

工場出荷時のレンズベビー3Gには「14.0」の取りのりが付いています。取りのりを外した状態が「12.0」です。はじめ練習としてレンズベビー3Gをお使いになる時は被写界深度が深くてスイートスポットが広い「14.0」もしくは「15.6」の取りのりを使用することをお勧めします。

取りのりの交換は、マグネット式の取りのり交換ツールで取りのりの端に附けて持ち上げるだけで簡単にできます。新しい取りのりを装着するときは、レンズの中に落とし込むだけで、内蔵されたマグネットの磁極によって、レンズ上の正しい位置に自動的に納まります。

取りのり種類

- | | |
|----------------------------|--|
| <input type="radio"/> 12.0 | 取りのりを使用しない(12.0)で撮影すると、スイートスポットは最小となり、ディフューズ部分が多くなります。 |
| <input type="radio"/> 12.8 | |
| <input type="radio"/> 14 | 取りのりの口径が大きくなるほど、スイートスポットは小さくなり、被写界深度も深くなります。 |
| <input type="radio"/> 15.6 | |
| <input type="radio"/> 18 | |
| <input type="radio"/> f11 | |
| <input type="radio"/> f16 | |
| <input type="radio"/> f22 | |



スイートスポットは最大となり、ディフューズ部分が少なくなります。また、被写界深度も深くなります。

測光方式

レンズベビー3Gはカメラとの間に電気的な接点を持たないので、直面露出は下記を参考にしてください。

ニコン N50, N55, N60, N65, N70, N75, N80, D100, D50, D70, ニッカク 14N, ProN, フジ S1, S2, S3はレンズベビー3G 使用時は TTL 测光ができませんので、マニュアルモードでテスト撮影をおこない最適な取りのりを決定してください。それ以外のニンジャズ D200, D10X, D2X を含むほとんどのニコンのボディは取り巻きモードで測光することができます。

スピードライトを使用してフラッシュ撮影をするとときは、カメラをマニュアル露出モードにして、スピードライトは自動的にフラッシュ光量の判断をおこなうオートモードにして撮影してください。

キヤノン EOS シリーズはマニュアルもしくは取り巻きモードを使用することが可能ですが、Av モードにするとレンズから入った光の強さだけを基に適切なシャッタースピードを選択します。フラッシュ撮影をおこなう場合はマニュアルモードに切り替えてください。

ペンタックス K, オリンパス, フォーサーズをはじめとするその他のほとんどの一眼レフカメラは、取り巻きモードにするとレンズを通して光を測光することができます。

ソニーαシリーズのカメラは必ず「レンズなしリリースロック」を「なし」に設定してください。初期設定では、レンズが装着されていないとシャッターが切れません。詳しくはカメラの取扱説明書を参照して、電気接点の無いレンズを使用する項目などを参照してください。

④ 仕様

| | |
|-------|---|
| 焦点距離 | 約50mm |
| 取りのり | 12.0, 12.8, 14.0, 15.6, 18.0, f11.0, f16.0, f22.0 取りのり交換ツール式 |
| フォーカス | 手動式(マニュアル) |
| 撮影距離 | 離距約30cm～∞(無限遠) |
| 最大径 | 77mm |
| 重さ | 約140g |
| マウント | Nikon F-M, Canon EF-M, Sony E-M, Pentax K-M, Leica M-M, フォーサーズ用 |